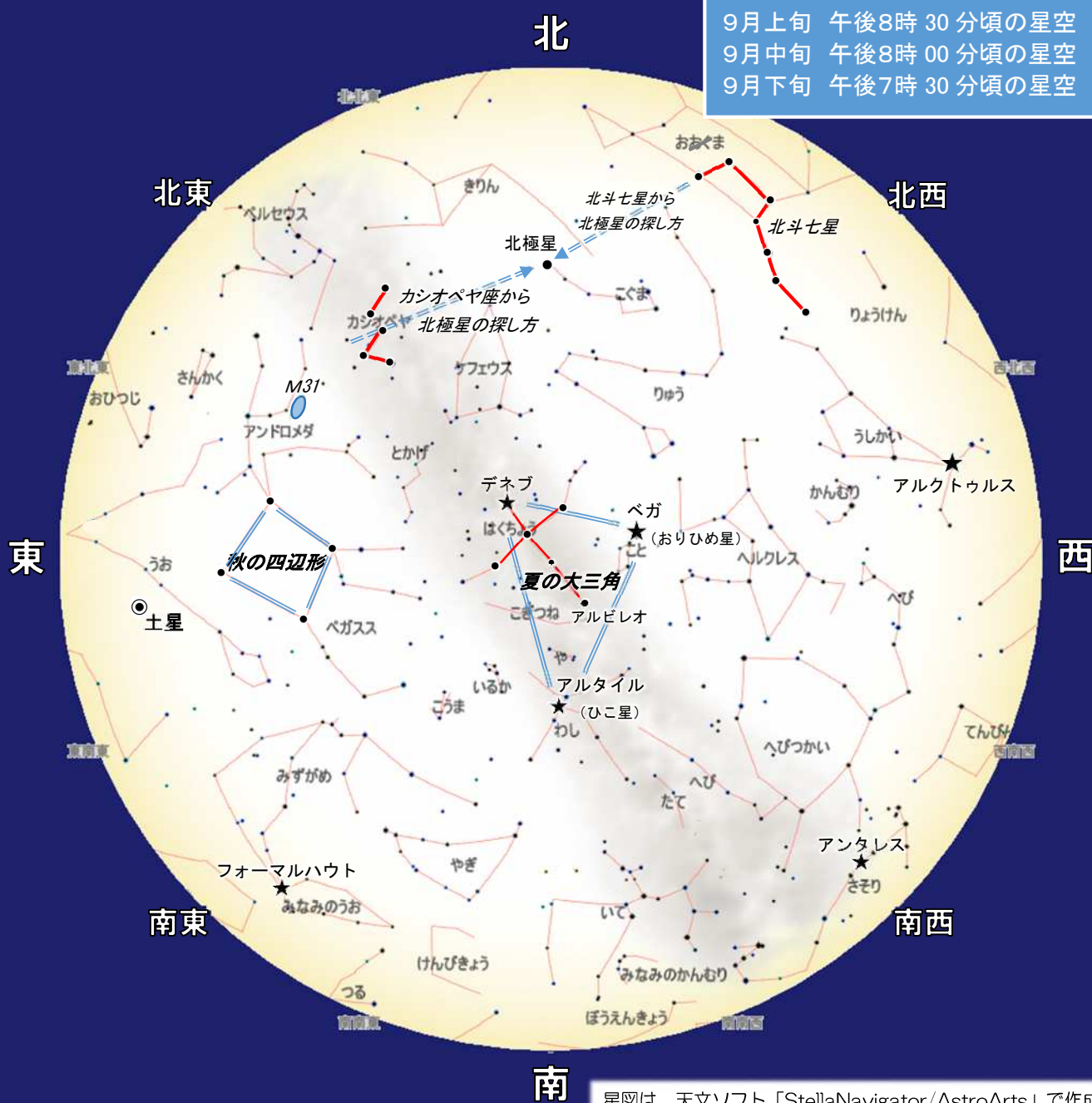


2026年 9月の星空案内



9月上旬 午後8時 30 分頃の星空
9月中旬 午後8時 00 分頃の星空
9月下旬 午後7時 30 分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成

【9月の星空】

天頂（頭の真上）付近には、3つの1等星（こと座のベガ・わし座のアルタイル・はくちょう座のデネブ）でつくる『夏の大三角』が目立ちます。また、東の空には秋の星座が昇ってきます。目印となる『秋の四辺形』のうち3つはペガサス座の星ですが、北東の1つはアンドロメダ座の星です。アンドロメダ座には、M31「アンドロメダ銀河」があり、天の川が見えるような空の暗い所では、双眼鏡で淡い雲のような姿を見ることができます。さらに、『秋の四辺形』近くには土星が輝いています。

【9月の天文現象】

旧暦の8月15日は、十五夜。『中秋の名月』や『芋名月』といわれ、今年は9月25日（金）にあたります。昔から「ススキの穂」や「お団子」、「芋などの農作物」などを飾り、お月見を行う風習が各地に残されています。「中秋」というのは、旧暦では1～3月を春（1月を新春）、4～6月を夏、7～9月を秋、とするため、旧暦8月が秋の真ん中になるからです。秋の澄んだ空の下、お月見を楽しんではいかがでしょうか。